

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局

じ

0954-43-9380



第13回 吉田地区グラウンドゴルフ大会の熱戦

11月9日（土）に吉田小学校・中学校のグラウンドにおいて、第13回吉田地区グラウンドゴルフ大会を健康福祉部会（峰正己部会長）が開催したところ、選手77名、スタッフ10名の参加をいただきました。初めての方、毎週のように練習を重ねた方などそれぞれに競技を楽しんだ熱戦の結果、大串健さん（皿屋区）が35打で優勝を飾られました。優勝インタビューでは、「吉田地区のグラウンドゴルフクラブに入り、週に3回の練習に励んでおり、今回その成果が出て嬉しく思っています。」と話されていました。高齢者賞は男性が岡一己さん（東吉田91歳）、女性が上滝厚子さん（東吉田91歳）でお元気のプレーを披露されていました。また、ホールインワンも田平末男さん（両岩）など15回も出て、レベルが上がっているように感じられました。最後に役員や職員サポーターを始めとするスタッフの皆さん方の協力にお礼を申し上げます。加えて商品のティッシュペーパーをめぐっての恒例のジャンケン大会も盛り上がりを見せました。



役員・運営委員の視察研修の結果報告

11月12日（火）にコミュニティの役員・運営委員・嬉野市企画政策課職員の12名で、福岡県宗像市の「赤間地区コミュニティ運営協議会」に視察研修にうかがいました。吉田より5年ほど先輩にあたる赤間地区は、人口が17,500人ほどあり規模もさることながら、フリーマーケットやボーリング大会開催など吉田では行っていない事業内容が新鮮に感じました。特に防災に関して「避難判断訓練」というのを毎年行っており、気象状況などからの判断の仕方を学んでいるということは、吉田でもできないかと考えさせられました。赤間地区は福岡・北九州のベッドタウンで、また大学の町でもことから、吉田にはない悩み「若いファミリーや大学生の未加入問題」「新しい住民の参加促進」などを抱えているそうです。後半は質疑となりましたが、平山眞佐子副会長の女性の参加状況などの質問に対して、赤間地区の女性副会長が、ご苦勞を含めて実情を丁寧に回答していただきました。



また、ひとり一人に抹茶を立てておもてなしをしていただくなど、親交が深まり今後の交流を誓い合って視察を終えました。

第16回 子ども夢会議講演会を開催しました！

11月10日（日）に青少年育成部会（中原健一部会長）による第16回子ども夢会議講演会を開催しました。講師は佐賀嬉野バリアフリーセンター理事長の小原健史氏で、「老若男女誰でも楽しめる嬉野温泉をめざして」を演題にお話をしていただきました。「みんなちがって、みんないい」というバリアフリーの合言葉を紹介していただき、事例を交えながら、実際児童に車いすに乗ってもらい、小学生にもわかりやすく説明していただきました。今年は2024全障スポが開催されて、嬉野市でも「ポッチャ競技」が行われるなど関心を高めるいい機会になったと思います。最後に吉田中3年の炭吉剛さんが「説明を受けた取り組みは、素晴らしいもので、将来他人を助けることで自分ができることは頑張ってやっていきたい」とお礼と感想を述べました。



朝の風景「あいさつ運動」！

コミュニティでは、9月から11月まで、PTAなどの学校関係の皆さんと吉田小中の校門で児童・生徒への登校時のあいさつ運動を実施しています。力強い「おはようございます」に元氣をもらっています。



トートバッグできました！

来年3月に納戸料、東吉田区対象に実施する避難訓練の参加記念品となる「トートバッグ」ができました。市の職員サポーターのデザインで百年桜がモチーフになっています。



頭の体操「とんちクイズ」で吉田のとんち王に！

以下のとんちクイズに挑戦してください。あなたの頭の柔らかさはどうでしょうか。3問正解に自信のある方は、コミュニティ事務局（43-9380）にご連絡ください。全問正解の先着3名の方は、「とんち王」としてコミュニティだより上で表彰いたします。また、記念品としてコミュニティボールペン・トートバッグを進呈。

第1問 値段がわからないお寿司はなんですか？

第2問 ママはお母さんのことですが、マママとは何のことでしょうか？

第3問 あることをするとカラスが一瞬にして透明になりました。何をしたでしょうか？

出典：クイズ王国